



主な内容

- これからの抱負 P2~3
- 令和6年6月定例会 P4~5
- 5議員が一般質問 P6~10
- 合同行政調査 P11
- 表紙写真の募集 P12

の抱負

メッセージ～

一般選挙が行われ、新しい議会が
て、役職や所属委員会などが決定
ともにご紹介します。



10 番 大須賀 溪仁

- 議長
- 総務常任委員会 委員

皆さんのくらしの向上の為、また公正・
公平な議会運営に誠心誠意努めて参
ります。



1 番 齋藤 寿昭

- 総務常任委員会 委員
- 議会広報常任委員会 委員
- 須賀川地方保健環境組合議会議員

村民の未来のために住みやすい村づ
くりを目指し頑張っています。

2 番 石塚 喜吉

- 議会広報常任委員会 副委員長
- 産業建設常任委員会 委員
- 須賀川地方広域消防組合議会議員

夢ある未来、豊かな地域づくりへ向け
て、村民の皆さまと一緒に考え、住み
やすい活力ある村創りに向けて頑張り
ます。



3 番 吉成 邦市

- 総務常任委員会 委員長
- 議会運営委員会 委員
- 議会広報常任委員会 委員

豊かな地域を実感できる村づくりに
向け頑張ります。



4 番 馬場 吉信

- 議会広報常任委員会 委員長
- 産業建設常任委員会 委員
- 議会運営委員会 委員
- 公立岩瀬病院企業団議会議員

地域資源に磨きをかけ、幸せを実感
できる村づくりを推進します。



初議会（第2回臨時会）の議案審議結果 4月3日

	番号	事 件	内 容	結果
議 案	1	専決処分の報告及び承認について	天栄村税条例の一部を改正する条例の制定について →個人住民税の特別税額控除に係る規定の新設等所要の改正	承認
	2	専決処分の報告及び承認について	天栄村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について →課税限度額の引き上げ及び軽減判定所得の基準見直しのための所 要の改正	承認
	3	令和6年度天栄村一般会計補正予算に ついて	定額減税対応システム改修委託料270万円を増額	可決
	4	監査委員の選任につき同意を求める ことについて	議員選出の監査委員として小山克彦議員を選任することに同意	同意

※議長、副議長その他組合議会議員選挙については、指名推薦により指名されました。

これから

～村民の皆様へ



5番 大浦 トキ子

●総務常任委員会 委員

命・暮らしが大切にされる村政を目指し、村民の願い実現のために頑張っています。

6番 服部 晃

- 議会運営委員会 委員長
- 産業建設常任委員会 副委員長

村民の皆さんが幸福を味わえるよう一生懸命頑張ります。



7番 小山 克彦

- 総務常任委員会 副委員長
- 議会運営委員会 副委員長
- 監査委員

少子化・高齢化の中でも、キラリと光る村づくりを目指して！頑張ります。



8番 熊田 喜八

- 産業建設常任委員会 委員

是は是、非は非で不偏不党の立場に立ち、信念をもって貫きます。



9番 円谷 要

- 副議長
- 産業建設常任委員会 委員長
- 議会運営委員会 委員
- 議会広報常任委員会 委員

村の基幹産業の振興と魅力ある村づくりを促進するため頑張ります。

各臨時会の議案審議結果

第3回臨時会 4月18日

- 議案第1号 選挙管理委員会委員及び補充員選挙 任期：令和6年4月24日から令和10年4月23日まで
(内容) 任期満了に伴う選挙
委 員：廣瀬和吉氏、佐藤市郎氏、石井一美氏、小山道夫氏
補充員：兼子弘幸氏、小山英正氏、星裕明氏、伊藤義則氏

第4回臨時会 5月16日

	番号	事 件	内 容	結果
議案	1	工事請負契約の締結について	天栄保育所移転敷地造成工事 有限会社おおき建設工業 8,690万円	可決
	2	工事請負契約の一部変更について	南1号線道路改良工事請負契約を166万円増額し変更	可決
	3	令和6年度天栄村一般会計補正予算について	定額減税にかかる調整給付金対応のため3,960万円 追加補正	可決

6月定例会 [会期] 6月11日～14日まで

令和6年6月定例会では、条例改正や令和6年度一般会計補正予算など7件(報告2件を含む)が提出され、審議の結果、全議案が可決となりました。

また、陳情書3件を受け付け、委員会での審査の結果を踏まえ、本定例会において3件全てが採択となりました。

一般質問では、新議員を含む5名の議員が統合小学校の進捗や認知症徘徊の対応などについて問いました。



小学校低学年合同の水泳授業

PickUP!!

議案第6号

令和6年度天栄村一般会計補正予算(第3号)



歳入歳出予算の総額に1億1,410万円を追加

増額補正の主なもの

総務費

- 小規模団地分筆測量業務委託料 250万円
- 小規模住宅団地敷地造成工事費 4,900万円

民生費

- 児童手当システム改修委託料 425.4万円

農林水産業費

- 治山事業工事請負費(牧本小学校西側) 250万円

土木費

- 施設備品購入費(作業用車両) 759万円
- 下松本地区県道横断暗渠改修実施業務委託料 1,100万円

Q

円谷議員

小規模住宅団地敷地造成工事費について、造成にかかる金額が大きいように思うが、なぜこのような金額になったのか。

A

【企画政策課長】

造成工事費については、敷地造成工と擁壁工、地盤改良工、雨水排水工、污水排水工、通路工など5区画造成する工事費すべてにおいて計上しております。

Q

小山議員

下松本地区県道横断暗渠改修実施設計業務委託料について、どのようなことを行うのか伺いたい。

A

【建設課長】

役場西側周辺において、過去の大型台風などにより床下浸水などの住宅被害が出ており、地区からも要望を受けています。地域全体で流域の排水調査の確認が必要であることや今後の保育所整備もあるため、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、これ以上の浸水を出さないために横断までの区域の排水について調査するものです。

議員発議案により 3 件の意見書を国に提出へ

総務常任委員会

地方財政の充実・強化を求める意見書提出 陳情書

採択

地方自治体には、より新しく極めて多岐にわたる役割が求められている状況にあり人材不足も深刻化している。

よって 2025 年度の政府予算と地方財政の検討にあたり、これらの行政需要を的確に把握すると共に、物価高騰対応や賃上げ基調に相応する人件費の確保まで含めた地方財源の確保充実を図るため、国に意見書を提出する。

国に対し「学校給食費無償化を実施すること を求める意見書」提出についての陳情

採択

全国的に学校給食費無償化が大きな流れになってきている中、住んでいる市町村によって保護者の給食費負担が大きく異なるという問題がおきていること。

また、学校給食は教育の一環であることから、給食費の無償化によりすべての児童・生徒が平等な食育を受けることができるよう国・県に対し意見書を提出する。

【意見書の送付先】

- ・内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長・財務大臣
- ・総務大臣・厚生労働大臣・国土交通大臣・デジタル大臣
- ・内閣府特命大臣（少子化・男女共同参画）

【意見書の送付先】

- （国）・衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣
- ・総務大臣・財政大臣・文部科学大臣
- （県）・福島県知事・福島県教育委員会教育長

6 月定例会その他審議結果一覧表

	番号	事 件	内 容	結果
報 告	1	令和 5 年度天栄村一般会計繰越明許費繰越しの報告について	社会保障・税番号制度システム整備事業など 11 事業、1 億 5,023 万円を令和 6 年度への繰越額として確定	-
	2	令和 5 年度天栄村工業用地取得造成事業特別会計繰越明許費繰越しの報告について	進入路整備事業 680 万円を令和 6 年度への繰越額として確定	-
議 案	1	天栄村税特別措置条例の一部を改正する条例の制定について	地方税の課税免除等が適用される場合の省令改正に伴う適用期限の改正	可決
	2	天栄村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	家庭的保育事業における保育士の配置基準について所要の改正	可決
	3	天栄村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険法施行規則等の一部改正に伴う所要の改正	可決
	4	天栄村地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決
	5	天栄村村営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について	DV防止法の一部改正に伴う所要の改正	可決
	6	令和 6 年度天栄村一般会計補正予算について	4 ページ PickUP に掲載	可決
	7	令和 6 年度天栄村水道事業会計補正予算について	収益的収入及び支出 550 万円 資本的収入及び支出 300 万円 それぞれ追加補正	可決
発 議 案	1	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	本ページ（上段）に掲載	可決
	2	国に対し学校給食費の無償化を求める意見書の提出について		可決
	3	県に対し学校給食費の無償化を求める意見書の提出について		可決



策定から約10年が経過し、これらの効果等はどうか。

村長

村では、人口減少に伴う地域課題に対応するため「天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、企業誘致、地域産業の活性化、U・Jターンの促進や子育て支援の充実を図った結果、現在の村の人口は人口ビジョンと同程度の人口減少にとどまっています。

引き続き、若い世代の定着を図るため、地域の活性化や各種支援体制の充実を図るとともに、今後は、人口減少社会を見据え、デジタルの力を活用した地域課題の解決や魅力の向上を図り、住民誰もが暮らしやすいむらづくりを進めてまいります。

1 村のまち・ひと・しごと創生総合戦略について

議員

平成28年3月に策定した村の人口ビジョンは、2060年に3,300人程度の人口を目指しており、そのための対策として「天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定された。

議員

関係人口・交流人口の創出のための取り組みは。

企画政策課長

天栄ファンクラブ制度の運営や、県と共同で実施したオンラインでの交流事業、村カレンダー作成、SNS等での情報発信などを行ってまいりました。天栄ファンクラブの登録者数も現在は331人の登録があり、



天栄ファンクラブ制度で発行されるファンクラブカード

取り組みに効果は出ていると認識しております。

議員

次期計画の策定に向けた考えは。

企画政策課長

現在のまち・ひと・しごと創生総合戦略が今年度までとなっていることから、まず住民の意見を反映させるための住民アンケートを実施し、施策の評価を行い、人口の現



福島くらし&しごとフェアの様子

状及び将来の見通しを更新し、今後5年間の総合戦略を策定する予定です。また国が改訂した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、村でもデジタルの力を活用しつつ、村の人口の現状及び将来の見通しを踏まえた上で、国が示している4つ①地方に仕事をつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくる、の取り組みを進めます。



1 消防団車両の整備及び待遇改善について

議員

3分団第1班、第2班の小型ポンプ、自動車ポンプの20年の更新時期が来ているが、いつ更新するのか。

村長

消防車両の整備につきましては、第2班の車両から順次更新を検討しており、団員が運用しやすい車両の更新を進めてまいりたいと考えております。

議員

令和5年4月から班長や団員の報酬が上がったが、本部役員の報酬について、上げる予定はあるのか。

村長

本部役員の年額報酬の額につきましては、同基準により、業務の負荷や職責等を勘案し、標準額と均衡のとれた額となるよう定めるとされているため、平成17年4月に改訂をしてから現在までその額は変更しておりません。今後、村消防団本部役員と協議を進めてまいりたいと考えております。

2 統合小学校の進捗について

議員

保護者から小学校の統合について、多くの意見が寄せられているが、統合小学校の進捗状況はどうなっているのか。場所の選定について伺いたい。

村長

小中学校統合委員会からの意見書の中に「役場周辺もしくは天栄中学校と近い位置」とありますので、そのように計画して参りたいと考えております。

議員

4年前のアンケート調査で統合が決定してから進捗状況が見えないが、遅くなっている理由は。

村長

土砂災害警戒区域内にあ

る天栄保育所を移転することを最優先に取り組み、その後、統合小学校の整備を行いたいと考えております。

議員

開校予定はいつ頃か。

村長

保育所建設に要する費用等を踏まえたうえで、統合小学校の財源確保も必要になることから、具体的な年次計画が作成できない状況ですので、現段階では開校予定時期もお示しできないものであります。村の財政状況を見据えながら検討を進め、よりよい統合小学校の整備に努めてまいります。

3 商工祭について

議員

村民運動会やウルトラクイズなどのイベントが終了し、村民から残念に思う声

が寄せられている。村民が集うイベントとして、商工祭を一大イベントに育ててもらいたいと思うが、村長の考えを伺いたい。

村長

商工祭は、地域に賑わいと活力をもたらす天栄ならではのイベントであり、村では開催費用の一部を補助しており、今後におきましても商工会と協議を行いながら、さらに盛大なイベントとなるよう支援をしてまいりたいと考えております。



大盛況となったてんえい商工祭 2023



1 農業用水の渇水対策について

議員

近年の気候変動による降雪量の低下や降雨量の偏りにより農作物への影響が大きな課題となっており、特に大里地区においては、国営パイロット事業により区画の整備が進み作業条件が

改善されたが、田子沢ダムの事業廃止により肝心の農業用水が不足している状況である。

村として基幹作物の水稲の渇水対策をどのように考えているのか。

村長

農業者の皆様には気候変動等により農業用水の確保に苦労され、特に大里地区の水利は河川とため池であることから確保できる水量が少ないと認識しています。

村では緊急浚渫事業債を活用し行政区からの要望に基づき浚渫を行っており、農業用水の確保に努めるとともに水利となる河道掘削についても県に要望してまいります。

議員

田子沢ダムの事業中止以後受益地の水系の見直しについて再検討はしているか。

村長

矢吹西部土地改良区へ確認したいと思います。また現在、治水関係も視野に入れた水利の確保ができないか検討をしています。

議員

既存ため池が雨が降ると直ぐに越流してしまい容量が不足していると思われるが、拡張等により水量の確保ができないか。



大里地区の長者（蛇）池

村長

ため池の新設等については、国県の事業を検討したが受益地等の基準があり、該当しないため、引き続き、要望活動や改善策を検討してまいります。

2 現在未利用となっている公共施設の管理について

議員

現在、村内には利用と中止または廃止されている公共施設が多くなってきたように思われますが、利用されていない施設の管理と今後の利用計画はできているのか。

村長

平成29年に策定した天栄村公共施設等総合管理計画

や令和3年に策定した天栄村公共施設個別施設計画に基づき、村の財産である施設を適切に維持管理すると共に方針の定まっていない施設についても検討をしてまいります。

議員

現在未利用の施設の管理にかかる費用はいくらになるか。

総務課長

休止廃止の施設維持管理経費は約800万円であります。

議員

風力発電施設の解体に係る補助制度はあるのか。

産業課長

補助事業などが該当しないので自主財源による単独事業となります。



1 村内の空き家問題について

議員

全国の空き家数の推移は一貫して増加傾向にあり、この先10年後には、空き家は倍になるといわれ、空き家率は4戸に1戸は空き家という状況が想定されている。

村長

そこで、村内の空き家の総数はどのくらいあり、住める住めない等の把握はしているのか伺いたい。

村内における空き家につきましては、平成27年度に実施した外観目視による実態調査では、106戸の空き家を確認いたしました。その後、令和5年度末までに58件の空き家バンク制度申し込みがあり、うち33件が新たな空き家であることから、現在、村で把握している空き家数につきましては、139戸となっております。

議員

空き家を放置することで発生するトラブルやリスク、景観の悪化、火災の被害など大きな損失もあると思われるが、村としては空き家

問題に対するトラブルやリスクについて、どのように考えているのか。

建設課長

空き家に対するトラブルやリスクについては、老朽化が進み、建物の倒壊、周囲の環境面、不法侵入や不法投棄といった犯罪リスクも大きいと認識しております。所有者への適正管理を促すと共に、空き家

議員

所有者の高齢化や相続放棄などの問題もあり、空き家発生率が高くなることから、長期放置のないよう村から働きかけが必要であるが、空

き家バンクの有効利用については、どのようにPRを行っているのか。

建設課長

PRについては、村のホームページやチラシ配布、不動産業者へもチラシ等を配布するなど、周知するように考えております。

お問い合わせ先

詳しくは（一社）
天栄村ふるさと夢学校
(0248-94-2232) へ
ご連絡ください。



村の空き家バンク制度のチラシ



② 認知症徘徊による 行方不明者の対応 と対策について

議員

近年、近隣や全国で認知症徘徊での行方不明者が増加傾向にあり、社会問題となっているが、警察庁の調べでは2022年に認知症（あるいは疑い）で行方不明

者の届けがあった件数がのべ18,709人（10年前から倍増で過去最多）で、うち死亡451人、所在確認できず284人とされている。

村での認知症（あるいは疑い）の徘徊行方不明者（徘徊）への対応と具体的な対策について伺いたい。

村長

村内において認知症が要因と思われる高齢者が行方不明となり、村消防団が出動するなど、広範囲に搜索した件数は、過去5年間で1件となっており、この時、行方不明者になった高齢者は、無事発見されております。村では、平成29年度から認知症により行方不明になる不安を感じている方へ、GPS端末機を貸与する事業や、徘徊する可能性のある高齢者に対して、衣服に貼るQRコードを無料で配

布する事業を行っておりま
す。また、認知症に関する理解促進を図ることを目的とした「認知症サポーター養成講座」の開催や認知症の早期診断・早期対応に向けた、「認知症初期集中支援チーム」を鏡石町と共同設置するなど、広域的な取り組みも行っております。

議員

2023年6月に、新たな法律「認知症基本法」が成立（2024年1月1日施行）し、今後の認知症の政策の土台となり、行方不明の対策などにも活かされるが、「認知症基本法」の施行後の対策で村の具体的な取り組みを伺いたい。

村長

本年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」は、認知症の人を含めた国

民一人ひとりが、その個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合う、共生社会の実現が目標に位置づけられております。

村では、認知症基本法の理念に基づき、今までの取組みを充実させ、体制整備や効果的な活動への検討を行い、認知症による行方不明の発生に繋がらないように認知症の初期の支援を包括的に取り組んでまいります。

議員

2020年時点では認知症者は全国で600万人、2025年には700万人とされ、65歳以上の高齢者5人に1人の割合となる試算結果が出ている。これまで行われてきた取り組みは、行政と家族などの目線が重視されてきたが、新しい法律「認知症基本法」では、まちづくりなどを進めると

きに、認知症の本人から話を聞くことが明記され、その意思や考えを尊重した社会を作っていくことを目指すとなっている。

国や地方自治体には、移動の交通手段の確保や行方不明者の早期発見の為に地域での見守り体制の整備などを求めている為、是非取り組んでいただきたい。



天栄中学校にて行われた認知症サポーター養成講座

行政 調査

総務常任委員会(吉成邦市委員長)と産業建設常任委員会(円谷要委員長)は、7月9日から11日にかけて岐阜県輪之内町・富山県南砺市での合同行政調査を行いました。

総務 常任委員会

ゼロカーボンシティの取り組みについて

ゼロカーボンシティの実現に向け先進的な取り組みを進めている岐阜県輪之内町では、20年以上も前からリサイクルやエコロジー活動が積極的に行われており、子供から大人そして企業等も一緒になり、地域全体でゴミを減らしている意識の高さに感心しました。

河川清掃活動や環境講演会の開催、そして資源持ち込みのための「エコドーム」を建設し、リサイクル等に努めており、来場ごとにポイントがたまり記念品がもらえる工夫もされていました。

また、生ゴミの堆肥化も進めており、農地を持たない方へ「いきいき農園」を40区画開設し、堆肥の活用も推進していました。

地球温暖化に対する取り組みは、速効性はなく、日々の積み重ねが重要であり、小さい頃からの環境教育の大切さを実感してきました。

今後、天栄村でもゼロカーボンシティの取り組みを着実に進める上で貴重な視察研修であり、村における事業展開においてしっかりと反映できるよう取り組んでまいります。



輪之内町での研修の様子



輪之内町役場玄関前

産業建設 常任委員会

産業活性化（主に商工業）の取り組みについて

産業建設常任委員会では、「若者の希望にあう就業への支援」を目標に企業との連携及び産業支援の強化に取り組んでいる富山県南砺市を調査してきました。

南砺市では背景に、特に若い女性の人口流出に歯止めがかからないこと、後継者不足の深刻化、市内に一人暮らしの賃貸住宅が少ないなどの課題があり、これらを踏まえ、若者・女性採用企業応援プロジェクトや雇用創出奨励事業等々様々な事業が展開されていました。

また、企業の魅力発信事業や観光産業育成やサテライトオフィス開設支援等も充実しており、社会情勢の変化等を踏まえ、評価・検証を行い、まちづくりと一体となった戦略が実行されていました。

お互いの地域における活性化のポイント等について意見交換が活発に行われ、有意義な研修となりました。

これらの調査を踏まえ、村政に反映できるよう今後も取り組んでまいります。



南砺市での研修の様子



南砺市役所玄関前

議会だよりの表紙写真を募集します!!

住民参加型の親しまれる広報紙を目指し、てんえい議会だよりの表紙写真を公募することとしました。住民の皆様におかれましては、ぜひ応募いただきますようお願いいたします。

▶ 募集内容

村民や天栄村に関連する行事または風景など、各定例会号の表紙にふさわしい写真

▶ 応募資格

天栄村内在住・在勤、天栄村に縁のある方

▶ 応募規定

1号につき1人2枚まで応募可能
応募者本人が村内において撮影したもの など

▶ 掲載方法

採用された写真、タイトル、撮影場所、撮影時期、撮影者氏名（ペンネーム等）を掲載

詳しい内容は、村議会ホームページに記載されております。
応募用紙にご記入の上、写真を添付して応募してください。
<https://www.vill.tenei.fukushima.jp/site/gikai/hyoushi-bosyu.html>



▲ 過去の議会だよりの表紙（例）

▶ 町村議会広報研修会

令和6年7月2日

「伝わる」広報紙を目指して

福島市のとうほう・みんなの文化センターにて福島県町村議会議長会主催の広報研修会が開催され、議会広報常任委員が参加しました。

研修では、住民に伝わるまでが議会の責任であることを再認識しました。

また、広報クリニックでは参考とすべき点や改善点が挙げられ、今後の広報活動の参考とし、住民に伝わる議会だより作成に取り組んでまいります。



広報研修会の様子



表紙の写真

大里丹下地内の学校田にて、大里小学校3・4年生による田の草（コナギ）取りが行われた際の一コマです。子ども達は泥んこになりながらも、一生懸命田の草を取って株間を綺麗にしていました。実りの秋に向け、今から収穫が楽しみです。



議会のホームページをご覧ください

議会のホームページが開設されています。議会の概要、平成27年以降の会議録、議会だよりが掲載されています。

天栄村ホームページトップ ▶ 天栄村議会 をご覧ください。 <https://www.vill.tenei.fukushima.jp/site/gikai/>



● 議会広報常任委員会

委員長	馬場 吉信
副委員長	石塚 喜吉
委員	円谷 要
委員	吉成 邦市
委員	齋藤 寿昭

てんえい議会だよりを通じて、議会をもっと身近に感じていただき、より良い村づくりに活かしていきたいと考えています。これからもどうぞよろしくお願いたします。

今年度は、多くの村民の皆様に、親しんで読んでいただけるよう、表紙の写真を公募することとしました。多くの村民の皆様の応募をお待ちしております。

議会広報常任委員会では、分かりやすい情報提供を目指し、町村議会広報研修会に参加するなどして、知恵を出し合いながら作成しています。

議員改選後、初めての議会だよりです。
いつも「てんえい議会だより」をご覧くださいありがとうございます。

